

# 医学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に 向けた医学調査研究チーム 第1回会議報告

医学調査研究チームリーダー  
東京大学大学院医学系研究科附属  
医学教育国際研究センター教授  
北村 聖

1

## 医学チーム実施体制(アイウエオ順)

### (医学教育)

- 生坂 政臣 千葉大学医学部附属病院総合診療部長
- 泉 美貴 東京医科大学教授(病理学)
- 江頭 正人 東京大学准教授(老年医学、臨床研修)
- 大滝 純司 北海道大学教授(総合診療)
- 岡崎 仁昭 自治医科大学教授(地域医療・膠原病、アレルギー)
- 片岡 仁美 岡山大学教授(総合内科)
- 北村 聖 東京大学医学教育国際研究センター教授
- 佐々木 努 群馬大学准教授(神経生理、脳外科、海外PhD)
- 高田 和生 東京医科歯科大学教授(ハーバード研修、膠原病、リウマチ)
- 堤 明純 北里大学教授(公衆衛生、行動科学)
- 錦織 宏 京都大学准教授(医学教育)
- 野田 雅史 東北大学講師(呼吸器外科、シミュレーション教育)
- 長谷川仁志 秋田大学教授(循環器内科)
- 前野 哲博 筑波大学教授(総合診療科)

### (協力者)

- 齋藤 宣彦 社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構副理事長
- 石田 達樹 社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構事業部長
- 稲毛 一秀 文部科学省技術参与、千葉大学助教
- 孫 大輔 東京大学医学教育国際研究センター講師
- 福島 統 東京慈恵会医科大学教授(教育センター)

○: チームリーダー

2

# コアカリ改訂における基本方針(医学)

## 目次

### ●基本方針

1. コアカリ、グローバルスタンダード、国家試験出題基準等の整合性
2. 総量のスリム化
3. 参考資料の整理
4. 「医師として求められる基本的な資質」の実質化
5. 世界への発信
6. 疾病構造変化を踏まえた習得すべき基本的事項の再整理
7. キャッチフレーズ(医歯学共通)

### ●今後の方針

3

# コアカリ改訂における基本方針 (医学)

## 1. コアカリ、グローバルスタンダード、国家試験出題基準等の整合性

### ① コアカリ(GIO、SBO)と、グローバルスタンダード(学習成果基盤型教育)との関連性の明確化

- 文言の統一:「一般目標」を、「到達目標」に変更
- 到達目標を定め、内容の再検討・削除

### ② コアカリと、国家試験出題基準等との整合

医師国家試験や臨床研修、専門医、生涯教育との一貫性を見据えた検討

4

# コアカリ改訂における基本方針 (医学)

## 2. 総量のスリム化

- ① “コア”(2/3程度の時間数)としての項目の厳選
- ② 「準備コアカリ」の見直し・削除

## 3. 参考資料の整理

- ① 指導方略の提示
  - ・ 指導者に向け、指導法(方略)の明示
  - ・ 資料の提示、共通教科書の作成
- ② 臨床実習に関する資料の刷新

5

# コアカリ改訂における基本方針 (医学)

## 4. 「医師として求められる基本的な資質」の実質化

- ① グローバルな潮流や、国民からのニーズの反映
  - ・ グローバルスタンダード: アクティブ・ラーニング、早期臨床体験実習、水平的・垂直的統合教育、診療参加型臨床実習、多職種連携教育、地域医療教育、卒前・卒後教育の連続化、研究マインドの涵養、生涯教育など
  - ・ 国民のニーズ: 医療安全・倫理感の涵養、公衆衛生・社会保障、実践的臨床能力、高齢社会への対応(地域包括ケア)、新専門医制度への対応など
- ② 基本的な資質のコンピテンシー、実施施策の具体化

6

# コアカリ改訂における基本方針 (医学)

## 5. 世界への発信

- 英文翻訳(歯科と共通)。ただし、グローバルスタンダードとの整合が必要。

## 6. 医学・医療の進歩や疾病構造の変化を踏まえた習得すべき基本的事項の再整理

- 腫瘍および複数の臓器にまたがる疾患の強化:病理形態診断、遺伝子診断などの充実。
- 各論は、各学会等が主導するモデルカリキュラム作成も検討。

### (例)医学部卒前遺伝医学教育モデルカリキュラム

日本医学会、全国遺伝子医療部門連絡会議、日本人類遺伝学会、日本遺伝カウンセリング学会が連名で、医学教育モデル・コア・カリキュラムを受け、すべての医学生が卒業までに修得すべき遺伝医学・遺伝医療の内容を提示したガイドライン

7

# コアカリ改訂における キャッチフレーズ (医科・歯科共通)

## 「多様な医療ニーズに対応できる 医師・歯科医師の養成」

国際的な公衆衛生や医療制度の変遷に鑑み、国民から求められる倫理感・医療安全、チーム医療、地域包括ケア、健康長寿社会などのニーズに対応できる実践的臨床能力を有する医師・歯科医師を養成する。

8

# コアカリ改訂における今後の方針 (医学)

## 多方面からの意見の聴取

1. 調査研究チームにより、主要学会、医師会、日本医学教育評価機構(JACME)、患者の会などへのインタビュー(半構造化面接)調査の実施
2. 「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」での事前アンケートの実施

9

## 本日特にご議論いただきたい事項 (1)

(全体的な事項)

1. 教員向けの教え方(方略)や、臨床実習への言及をどこまで行うか(参考資料の整理)
2. コアカリを軸としたグローバルスタンダードの構築をいかに行うか(項目記載方法の再確認)
3. 「医師として求められる基本的な資質」をいかに記載するか(記載項目の再確認)
4. 医師としての多様なキャリア形成が見える工夫をどのように行うか

10

# 本日特にご議論いただきたい事項 (2)

(個別の事項)

5. 倫理と医療安全
6. 多職種連携
7. 医師としての研究マインドの涵養と研究者養成のためのさらなる方策の検討
8. 公衆衛生と社会保障(医療制度)
9. 高齢化社会(在宅、終末、地域包括ケア)
10. 疾病構造変化を踏まえたcommon diseaseの再検討
11. 準備コアカリ記載内容についての再検討
12. その他